

在宅医療連携  
拠点事業室

ほたる



## 平成23年度在宅医療連携拠点事業 成果報告会向け報告資料

平成24年3月8日

社団法人鶴岡地区医師会 在宅医療連携拠点事業室「ほたる」

# 実施したアクションプラン

研修会・意見交換会の開催

既存の医療・介護関連の会への参加・運営支援

主任介護支援専門員へのアンケート調査

連携シート作成（医師へのアンケート調査）

相談窓口業務

ショートステイ空き情報提供

医療依存度の高い方の施設受け入れ情報DB作成

Net4Uの利用促進・導入促進

行政担当者との定期的なミーティング

地域ケアネットワーク会議への定期的な参加

ほたるパンフレットの作成・配布

ほたるホームページの作成・公開

退院時カンファレンスへの参加

歯科医との定期的なミーティング

私たちは14のアクションプランを計画し実行してきました。

# 実施したアクションプラン

## 学習会等の開催・参加

研修会・意見交換会の開催

既存の医療・介護関連の会への参加・運営支援

## 相談窓口業務・情報提供

相談窓口業務

ショートステイ  
空き情報提供

## 行政・地域包括支援センターとの信頼醸成

行政担当者との  
定期的な  
ミーティング

地域ケアネットワーク会議への  
定期的な参加

## 医療機関との信頼醸成・連携実践

退院時  
カンファレンス  
への参加

歯科医との  
定期的な  
ミーティング

## アンケート調査と結果のDB化・公開

主任介護支援  
専門員への  
アンケート調査

連携シート作成  
(医師へのアンケート調査)

医療依存度の高い方の施設受け入れ情報DB作成

## 宣伝広報活動・ほたるの周知

ほたる  
パンフレットの  
作成・配布

ほたる  
ホームページの  
作成・公開

## 既存の情報共有基盤の活用促進

Net4Uの利用  
促進・導入促進

# 研修会・意見交換会の開催と既存の会への参加

## 主催した研修会・意見交換会

開催日時	会種別	テーマ	参加数
H23.10.05	研修会	ココがポイント！現場の感染症対策	125名
H23.11.11	研修会	スムーズな退院に向けた医療・介護の連携について	54名
H23.12.08	研修会	スムーズな退院に向けた医療・介護の連携について	28名
H24.01.24	意見交換会	行政担当者・施設管理者との意見交換会	35名
H24.02.03	研修会	褥瘡の知識と現状について、褥瘡予防とスキンケア	123名

## 参加した既存の学習会

開催日時	参加形態	会名	参加数
H23.05.30	参加	南庄内在宅医療を考える会	24名
H23.06.10	参加	つるやくネットワーク学習会	19名
H23.07.12	参加	南庄内地域連携パス講演会	72名
H23.07.13	支援	庄内地域医療連携の会	98名
H23.07.14	支援	南庄内栄養と食の連携を考える会	74名
H23.07.15	参加	庄内地域医療連携の会／退院・転院調整看護師の会	29名
H23.08.04	共催	医療と介護の連携研修会	136名
H23.08.29	支援	南庄内在宅医療を考える会	165名
H23.10.09	参加	鶴岡市民健康のつどい	200名
H23.10.27	共催	庄内PJ地域連携WG ふらっと会	89名
H23.11.18	共催	医療と介護の連携研修会	122名
H23.12.15	共催	南庄内在宅医療を考える会	27名
H24.02.08	参加	荘内病院褥瘡ケアにおける地域連携を考えるシンポジウム	130名

研修会の開催を通して、**在宅医療の現場に近い研修会の継続開催**を望む声が多く聞かれた。

**地域内の講師**を迎えることにより人と人の**繋がりや信頼関係**を構築できることがわかった。

**既存の会**には、ほたるとして参加することはもちろんだが、可能な場合は**運営の支援や共催**を提案した。

地域内の多くの会が、それぞれに企画を行う体制のため、毎日学習会が開催される週があった。**地域全体のコーディネート**が必要と感じた。

## 地域のニーズに応えた学習会の開催と、イベントコーディネーター役を目指す。

- ・ほたるとして在宅医療の現場に近い学習会を継続して開催していく。
- ・既存の会への参加を継続するとともに、運営支援・共催といった体制を強化する。
- ・地域全体の医療介護系のイベントコーディネーター役を担う。
- ・在宅医が中心の「南庄内在宅医療を考える会」の事務局機能を担い、24時間体制の構築を支援する。

# アンケート調査の実施と調査結果のデータベース化

## 主任介護支援専門員へのアンケート調査

- ・事業開始時（H23.7-8）にニーズ把握のため実施。調査結果をアクションプランの立案の基礎とした。

## 医師へのアンケート調査～連携シート作成

在宅医療者支援のための連携シート 2011年11月15日 153428

施設検索

No.	施設名	住所	電話番号	連携しやすさ	サービス担当者会議の有無
4	大塚医院	鶴岡市馬場町1-22-1	0235-43-2041 0235-43-3002	月火水木金	出席できる
8	石田内科医院	鶴岡市文庫町1-52	FAX	月火水木金	
9	石橋内科医院	鶴岡市藤巻字宮田48-15	0235-23-0002 0235-23-0380	水	
12	いとクリニック	鶴岡市白旗1丁目17-8	0235-64-2000 0235-64-3837	月火水木金土日	出席できる 7日前
13	伊藤耳鼻咽喉科医院	鶴岡市馬場町7-28	0235-22-2095 0235-24-1016	月火水木金	
14	大塚医院	鶴岡市本町2-11-15	0235-22-0283 0235-22-1873	月火水木金土日	
15	上野整形外科	鶴岡市白旗町10-43	0235-25-1776 0235-25-7669	月火水木金	
17	藤巻内科	鶴岡市藤巻字井原80	0235-67-2126 0235-67-2127	月火水木金土日	出席できる 7日前
20	おが内科/整形外科	鶴岡市本町1-11-18	0235-33-1322 0235-33-1322	月火水木金	
30	独立三川診療所	三川町山手地蔵4-9	0235-33-1322	月火水木金	出席できる 10日前

- ・鶴岡市長寿社会課が運営する基幹型地域包括支援センターと連携してアンケートを実施。
- ・178名の医師からアンケートを回収。
- ・Accessデータベース化を行い、相談業務に活用。
- ・冊子化を行い、120部をケアマネジャーを中心に医師会、山形県、保健所、鶴岡市等に配布。

## 医療依存度の高い方の施設受け入れ情報調査～データベース化と公開

医療依存度が高い利用者の受け入れ施設 データベース

施設検索

施設名	住所	電話番号	連携しやすさ	サービス担当者会議の有無
山形県立総合医療センター	鶴岡市本町1-1-1	0235-22-1111	月火水木金	出席できる
山形県立中央病院	鶴岡市本町1-1-1	0235-22-1111	月火水木金	出席できる
山形県立総合医療センター	鶴岡市本町1-1-1	0235-22-1111	月火水木金	出席できる

- ・「庄内地域医療連携の会」と連携して調査実施。
- ・175施設からアンケートを回収。
- ・Accessデータベース化を行い、相談業務に活用。
- ・冊子とAccessをケアマネジャー、連携室等に配布。

在宅医療に必要な情報のデータベース化を実現。  
 今後は「活用」「更新」「評価」のフェーズに移行する。

- ・ホームページ上での公開を行い、地域の医療介護従事者への利便性の高い情報を提供する。
- ・鮮度のある情報を維持するためのデータ更新や、定期的な評価を行いPDCAのサイクルを回していく。

# 相談窓口業務・情報提供

## 相談窓口業務

平成23年度実績

月	H23.8	9	10	11	12	H24.1	2	計
件数	2件	1件	1件	2件	3件	8件	3件	20件

### 【相談内容】

- ・鶴岡市の入所施設の紹介
- ・往診医と居宅介護支援センターの紹介
- ・相談先の紹介
- ・病院への照会方法
- ・訪問歯科診療の紹介
- ・看取り対応施設の紹介
- ・レスパイト入院またはショートステイ先の紹介

### 【相談元施設・職種】

- ・急性期病院（地域外） 11件（看護師）
- ・急性期病院（地域内） 2件（相談員）
- ・地域包括支援センター 1件（ケアマネジャー）
- ・居宅介護支援センター 6件（ケアマネジャー）

### ・今年信頼形成・準備の年と位置付ける。

- ・様々な会や取り組みへの参加を通じた信頼の醸成
- ・在宅医療にかかわる様々な情報の蓄積

### ・ほたるの「相談窓口」としての位置付けは？

- ・医療から介護へ、介護から医療への繋ぎ役
- ・地域包括支援センターに繋ぐ、ひとつ手前の存在
- ・歯科口腔ケアに関する相談窓口～歯科への繋ぎ役（後述）

## ショートステイ空き情報の提供

短期入所空き情報

サービス事業所名	電話番号	2/1 (水)	2/2 (木)	2/3 (金)	2/4 (土)	2/5 (日)	2/6 (月)	2/7 (火)
池澤園	25-2881	×	×	×	×	×	×	×
永寿荘	25-6111	×	×	×	×	×	●	▲
おおやま	38-0250	×	×	×	×	×	×	×
しおん荘	76-3735	×	×	×	×	×	×	×
温寿荘	43-2351	×	×	×	×	×	×	×
ふじの花荘	64-5880	×	×	×	×	×	×	×
かみじ荘	62-2233	×	×	×	×	×	×	×
桃寿荘 NEW	57-3222	×	×	×	×	×	▲	▲
かたくり荘	53-2300	×	×	×	×	×	×	×
ぶなの杜 NEW	58-1535	×	×	×	×	×	▲	▲

- ・各種学習会等のアンケートから、地域のニーズとして最も要望が多かった「ショートステイの空き情報」をほたるホームページで公開。
- ・ほたるで定期的に情報を集め、更新していくことにより、情報の鮮度を保ち、生きた情報として活用可能なものとする。
- ・H24.2から稼働。現在25施設の情報を管理・更新している。関係者のみ閲覧可能。

## 相談窓口業務の充実に向けた、大幅な機能強化を目指す！

- ・平成24年度より「市民向け相談窓口」としても機能できるよう体制を整える。
- ・従来通りの医療機関・介護施設向けの窓口も機能も充実させていく。
  - ・ショートステイの空き情報のとりまとめと提供。
  - ・各種データベースの蓄積による情報提供。相談内容のナレッジベース化。

# 宣伝広報活動・ほたるの周知

## パンフレットの作成と配布



- ・新しい組織である「ほたる」の周知が最大の目的。
- ・1000部作成。順調に配布済み。

## メディア掲載・テレビ取材

- ・『Visionと戦略2012年1月号』に特集記事が掲載。
- ・『クローズアップ東北』（NHK）の取材を受ける。5分程度のダイジェスト版が、10月27日18時30分頃から『やまがたニュースアイ』にて放映。

## ホームページの作成と更新



### アクセス数

月	H23.10	11	12	H24.1	2	計
件数	101件	131件	156件	313件	821件	1522件

- ・「ほたる」の周知と活動報告を掲載。アクセス数は順調に伸びている。
- ・一般公開情報だけでなく、医療介護従事者向けの情報公開（ショートステイ空き情報）もスタート。

## 引き続きの「ほたる」の周知と、医療介護従事者向け情報提供の充実を目指す！

- ・平成24年度より「市民向け相談窓口」としても機能できるようパンフレット、ホームページを改訂する。
- ・ショートステイの空き情報に加え、連携シートや医療依存度の高い方の施設受け入れ情報も掲載していくことで、地域の医療介護従事者向けの情報提供機能を充実させていく。

# 行政・地域包括支援センターとの信頼醸成

## 行政との定期的なミーティングの開催

H	7	8	9	10	11	12	H	2	計
23.6		○	○	○	○	○	24.1	○	7回

- ・鶴岡市長寿介護課直轄の基幹型地域包括支援センターとの定期的な話し合いの場を作り、調査や会合等を企画・実施した。
- ・「連携シート」は、8月から調査を開始、2月末の完成、配布となった。**本年度、ほたるが地域に残した大きな成果物**となった。



## 地域ケアネットワーク会議への参加

H	7	8	9	10	11	12	H	2	計
23.6	○		○	○	○		24.1	○	5回

- ・地域包括支援センター主催の地域ケアネットワーク会議や、地域ケア推進担当者会議に積極的に参加した。
- ・参加を重ねる中で医療的助言を行ってきた。



**本取り組みを継続的に行っていくことにより、行政及び地域包括支援センターとの信頼関係の醸成を目指す。**

- ・場の設置、参加を確実に継続していく。
- ・平成24年度は、行政や地域包括支援センターのニーズの把握を目指す。



# 医療機関との信頼醸成・連携実践

## 退院時カンファレンスへの参加

H	7	8	9	10	11	12	H	2	計
23.6							24.1		
○		○					○		3回

- ・本年度は3回の参加にとどまった。

### 【なぜか？】

- ・現時点では参加の中で学ぶ状態であり、患者・家族の参加するカンファレンスにおいて、機能するには至っていない。
- ・医療機関側から積極的に声をかけてもらえない現状もあった。
- ・退院時カンファレンスへの参加は必要なのか？

### 【必要性について検討の場を持った】

- ・退院時カンファレンスは、直接患者家族の声を聞くことが出来る貴重な機会。
- ・来年度も引き続き「学ぶ場」と位置付け、参加し続けることで、自力をつけ、信頼関係を築く。
- ・参加するための手続きを確立するところから、再スタートする。

## 歯科医師との定期的なミーティング

H	7	8	9	10	11	12	H	2	計
23.6							24.1		
			○	○	○	○	○	○	6回

- ・当地区では在宅歯科医、歯科衛生士と他職種との関わりが少なく、適切な在宅口腔ケアが提供されていない。
- ・歯科医師会への働きかけを行い、定期的なミーティングを行い、システム作りが始まった。

### 【見えてきた成果】

- ・ゼロからのシステム作りのため、相応の時間が必要だった。
- ・スクリーニングシートの作成や、地域で稼働している脳卒中地域連携パスへの乗り入れといった具体的な検討がようやく始まった。
- ・また、在宅口腔ケアに関する相談窓口をほたるが担い、適切に歯科医等へ繋ぐといった機能が期待されていることが分かった。

**退院時カンファレンスへの参加を継続する。参加に向けた手続きを確立する。  
在宅口腔ケアのシステム作りと、相談窓口機能の実現。**

- ・医療機関の在宅ニーズを開拓し、担い手としてのほたるの機能を検討する。
- ・具体的な在宅口腔ケアシステムの構築について歯科医への支援、及び協業を行いながら推進していく。

# 既存の情報共有基盤「Net4U」の活用促進

## Net4U活用促進に向けたほたるの取り組み

### 【説明会等の実施】

・主任介護支援専門員研修会	1回
・居宅介護支援事業所向け説明会	2回
・行政担当者・施設管理者との意見交換会	1回



### 【介護系参加施設の増加】

・3施設から6施設へ増加。

## Net4Uの今後の動き

システムバージョンアップで医療介護連携機能（文書作成機能）が大幅に強化される。

文書名	文書の内容	送信元	送信先
入院前状況報告書	病院または、診療所に入院する利用者につき、当該病院又は診療所の職員に対して、利用者に関する必要な情報を提供する。	ケアマネジャー	病院または診療所
退院・退所情報提供書	退院・退所にあたって、病院等の職員と面接を行い、利用者に関する必要な情報の提供を求めることその他の連携を行なった場合に記載する。	ケアマネジャー	病院または診療所 または介護保険施設
サービス利用確認書	以下のサービス利用の適否についての確認。（医療機関・訪問看護・訪問リハビリ・通所リハビリ・介護予防訪問看護・介護予防訪問リハビリ・介護予防通所リハビリ）	ケアマネジャー	病院または診療所の主治医
サービス担当者会議に対する照会（依頼）書	サービス利用にあたっての注意事項の確認等	ケアマネジャー	病院または診療所の主治医
サービス利用申込確認書	サービス利用希望の確認。（訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハビリ・通所リハビリ・通所介護・短期入所生活介護・短期入所療養介護）	ケアマネジャー	サービス提供事業者
利用者情報提供連絡票	利用者の体調や、生活状況、サービス利用状況の情報提供を行なうことにより、利用者及びケアマネジャーが治療や生活への助言を受ける。	ケアマネジャー	病院または診療所の主治医
介護保険利用者情報提供書	ケアマネジャーに対して居宅サービス計画の作成等に必要な情報を提供する	主治医	居宅介護支援事業者
Net4U情報共有依頼書	Net4Uを利用して情報を提供することの確認	ケアマネジャー	病院または診療所の主治医

医療介護連携機能が大幅にバージョンアップされる「Net4U」を、より効果的に在宅医療の現場で活用できるように、「ニーズの把握」と「活用の拡大に向けた取り組み」を実践していく。

# 一年間の事業を通して

- ▶ 当拠点の取り組みは、在宅医療を中心に据えながらも、地域における**医療介護連携全般にわたる広い活動**となった。
- ▶ 当拠点は、医療機関が母体となっていないため、医療に関するアウトリーチ等については実績面で弱い部分が見られたが、医師会だからこそ実現可能な、**組織横断的な情報共有体制の構築**や**学習会等の開催・参加**を実現することが出来ている。
- ▶ 地域において必要不可欠な組織として機能できるよう、業務の拡大・充実を進めるとともに、**自律的に運営可能な組織**として継続運営できるよう方策を考えていきたい。



在宅医療連携拠点事業における**「医師会モデル」**を確立すべく、本年度の活動をベースとした上で実現可能な取り組みを、来年度も継続して実践して行きたいと考えている。

ご清聴ありがとうございました！  
これからも「ほたる」は、在宅医療の推進のため、多職種連携を支援していきます。



看護師

島貫 設子

果物大好き設子です🎵  
昔はせっちゃんと呼ばれてました😊



相談員

渡邊 田鶴子

口癖は「今年こそダイエット!!」



事務

小野寺 亜衣

巨人 髙坂本勇人が大好きです💕